

2024スポーツ体験会

みんなの笑顔の一日



スポーツチャンバラ

年の瀬の体育館に歓声が響き、笑顔があふれた。スポーツ体験会には、園児から92歳まで幅広い年代が集結。主催は小竹ともこ政務調査室で、年齢や性別、障がいの有無を問わず、誰もがスポーツを楽しめる場を目指したイベントだ。

園児から92歳

2024スポーツ体験会が24年12月22日、札幌市豊平区の月寒公民館体育室で行われた。たくさんの参加者が5種類の競技に挑戦。会場は笑顔と歓声に包まれた。

5競技でチャンピオン!

ポーツを楽しめる場を目指したイベントだ。実施競技は5種目。ポツチャ、モルック、コーンホールに、2回目の今年はスポーツチャンバラとクオリティが加わった。5つのグループに分かれて、20分ずつ各競技を体験していく。子どもたちは飛び跳ね、大人たちは本気で声を上げる場面も。体育館は熱気に包まれ、笑い声が絶えなかった。閉会式前には、



コーンホール



モルック



ポツチャ



クオリティ

豊平区発

スポーツの力でまちを人を元気に!

小竹ともこ札幌市議会議員

インタビュー



「スポーツ体験会」の仕掛け人である小竹ともこ市議に、このイベントを開催する意義やスポーツが地域にもたらす可能性について伺いました。(聞き手:スポーツライター 石川加奈子)

プロフィール

- 月寒の商店街で金物店を営む両親のもとに2人姉妹の次女として生まれる。
- 札幌市立月寒小・月寒中学校、月寒高校卒業(元PTA会長、同窓会顧問、学校評議員)
- 北海道武蔵女子短期大学卒業(同窓会会長)
- STV ラジオランラン号キャスタードライバー、旅行添乗員。のち、家業の(株)小竹金物店を継ぐ。
- 4人の子育てをしながら金物店で働く多忙な日々の中、市議選に立候補。平成23年札幌市議会議員に初当選。現在4期目。
- 小竹金物店を閉店ののち(株)小竹建物代表取締役。一女三男の母親。孫5人。

<現在の役職・公職>

- 札幌市議会自民党議員会副会長
- 札幌市議会日台議員連盟幹事長
- 商店街振興議員連盟事務局長
- 札幌の美しい景観を考える会代表幹事
- 自衛隊体育学校後援会会員
- 自衛隊募集相談員
- ボーイスカウト札幌第24団育成会副会長

な場です。今後も続けていきたいと考えています。スポーツの魅力について教えてください。

「10年ほど前、地元の子供たちがアイスホッケーをするのを見て、私も参加したいなと思って。最初は、道外から、遠くは沖繩から家族と共に移り住むジュニア選手もいて、感動していました。ハンドボールに熱中していた息子たちを応援していた頃のこととも思い出します。一緒に応援していたお母さんたちと泣いたり笑ったり。スポーツを通じて生まれる感動は、かけがえのないものだと思っています。」



主なスポーツ支援

- 女子アイスホッケークラブ「ボルテックス札幌」サポーターズクラブ会長
- カーリング支援議員協議会メンバー
- 小竹ともこ杯争奪親睦少年野球大会開催
- スポーツ体験会開催
- バイアスロンなどウインタースポーツ全般
- パラアスリート及びパラスポーツ
- 豊平区ママさんソフトボール連盟顧問など

花選手をはじめ、パラ競技でもメダルラッシュに沸くなどスポーツ界では明るい話題が多く、たくさんの方が元気や勇気をもらっています。スポーツの力は、まちを、人を元気にする原動力になると信じています。子どもたちが描けることも、とても意義深いことだと思います。私も市議1期目にウインタースポーツのジュニア選手育成について代表質問をしまし

た。札幌2030冬季五輪の招致活動にも思いを込めて取り組んだだけに、活動停止は残念ですが、諦めてはいません。」

「最後に、このスポーツ体験会を通じて伝えたいことを教えてください。」

「スポーツは、ただ体を動かすだけでなく、人と人をつなぎ、地域に笑顔と活力をもたらします。このスポーツ体験会が、参加者にとって楽しい思い出となり、日常の中でスポーツを取り入れるきっかけになればうれしいです。地域全体がより元気で明るい未来に向かうようこれからも頑張ります。」

(取材構成 石川加奈子)

スポーツ新聞4紙で30年以上記者を務め、日本ハム番記者時代はダルビッシュ有、大谷翔平両投手ら取材した。昨年からフリーとして活動中。

スポーツチャンバラ

ここが魅力

スポーツと武道とレクリエーションが融合した競技です。老若男女、障がいのある方も、運動不足の方も、楽しむことができます。



北海道スポーツチャンバラ協会の落合さん一家



柔らかい剣で安全に戦う剣術型競技

モルック

ここが魅力

昨年夏、函館で世界大会が開催され、人気急上昇中。体力がない人や運動が苦手な人でも楽しむことができます。ルールも単純明快です。



木製のピンを倒して得点を競う競技



ボランティアの石田さん、山谷さん、井上さん

スポーツチャンバラ
ポッチャ
モルック
クロリティ
コーンホール

実施競技

世代超えた地域の活力

楽しさの輪

スポーツが育む

ポッチャ

ここが魅力

頭脳戦でもあり、最後の一球まで勝負がわからないスリルを味わうことができます。パラリンピックの正式種目に採用されています。



公認パラスポーツ指導員の志摩さんと伊藤さん

ボールを投げて目標球に近づける競技

クロリティ

ここが魅力

輪投げのように簡単に誰でもできて、みんなで盛り上がること間違いなしです。年齢によって投げる距離が変わります。



札幌市障がい者スポーツ協会の鈴木さん、菅田さん、瀬戸さん



まると的に向かって輪を投げて得点を競う競技

コーンホール

ここが魅力

まだそれほど認知度は高くありませんが、場所を選ばず、何人かが集まれば気軽に始められるパーティースポーツです。



穴の空いた板に袋を投げ入れ得点を競う競技



ソーシャルスポーツマネジメント代表の山田さん

豊平区キャラクター「こりん」と「めーたん」

豊平区では、「スポーツ・健康のまち・とよひらく」をテーマとして、様々なスポーツ施設に恵まれた環境や、区を拠点とするプロスポーツチームとのつながりをいかしたまちづくりを進めています。

年齢や性別、障がいの有無を問わず楽しめるモルックやポッチャ、パラスポーツ体験会や、プロスポーツチームのコーチによるスポーツ教室などを通して、誰もがスポーツに親しむ環境づくりや地域コミュニティの醸成に取り組んでいます。

勝ち負けにこだわるトッポスポーツとは異なり、スポーツを通じてコミュニケーションを楽しむ場として親しまれています。一方、日本では残業や施設

大人も一緒に挑戦を

今回のイベントをきっかけに、世代を超えて仲良くなれるスポーツの楽しさが広がっていくことを心から願っています。

気軽に楽しめるものばかりです。「ユニバーサルスポーツ」とも呼ばれますが、私はあえて「ソーシャルスポーツ」と呼んでいます。海外では、ソーシャルスポーツクラブが身近に存在します。例えば、仕事帰りに公園でキックベースを楽しむような光景が見られます。

最近では「子どもにパラスポーツを体験させたい」という声をよく耳にしますが、ぜひ大人も一緒に挑戦してみてください。大人が真剣に遊ぶ姿を見た子どもたちは、「大人になってもこんなふうに住んでいいんだ」と感じ、将来それが当たり前の光景になっていくはずです。

一般社団法人ソーシャルスポーツマネジメント代表 山田 憲治氏

設利用の制約などがあり、気軽にスポーツを楽しむ環境が十分ではありません。大人が気軽に集まり、社交の場としてスポーツを楽しむ文化が広がれば素晴らしいと思います。

＜参加者の声＞
◆山田重孝さん 頭を使いますし、意外と難しかった分、楽しかったです。お年寄りにもできるスポーツ。いろんな方に経験をしてもらい、広まってほしいです。

◆道佛雄太さん 少年野球チーム「豊平カーズ」の子供たちとつながりました。他のスポーツをやることで学びがありましたし、幅広い世代の方との交流は良い経験になったと思います。